

診療実績データの分析について

1 「診療実績が特に少ない」の分析

(1) 分析する領域 (9 領域)

がん、心疾患、脳卒中、救急、小児、周産期、災害、へき地、研修・派遣機能

(2) 分析の考え方

各医療機関が所在する構想区域の人口規模によって、診療実績が影響を受けるため、人口規模が近い構想区域に所在する医療機関を一つのグループとしてとらえ、その中で診療実績の比較を行う。

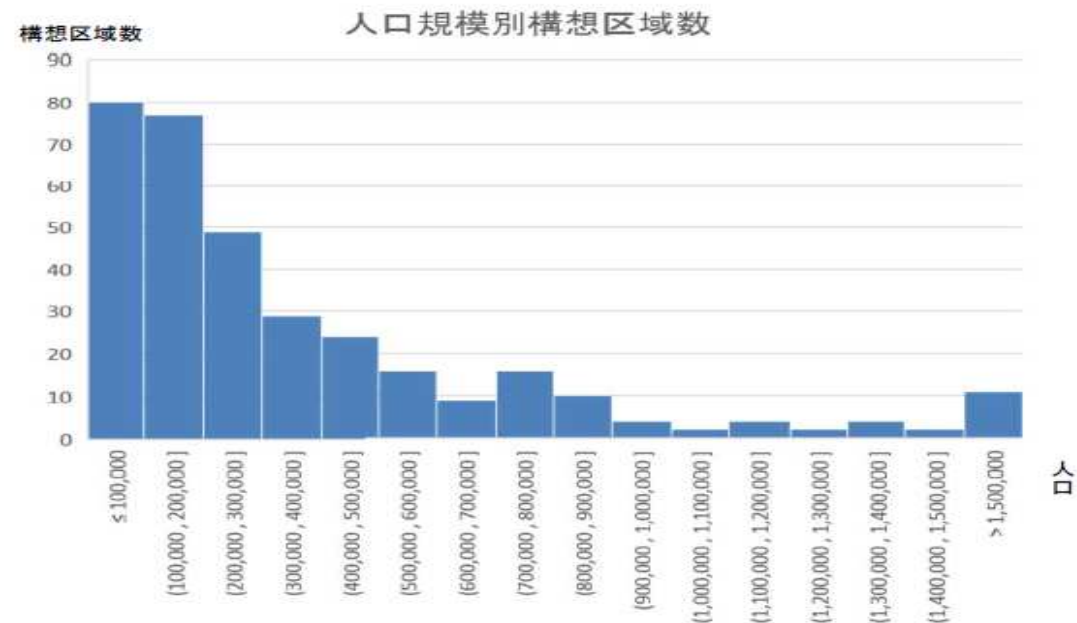
「特に診療実績が少ない」とする基準は、横断的に相対的な基準を設定し、人口区分によらず、下位 33.3 パーセンタイル値とする。

構想区域は、以下の 5 つのグループで分析する。

| | 人口規模別 | 該当する県内の構想区域 |
|---|------------------|-----------------------------|
| 1 | 100 万人以上 | 名古屋・尾張中部 |
| 2 | 50 万人以上 100 万人未満 | 尾張西部、尾張北部、知多半島、西三河南部西、東三河南部 |
| 3 | 20 万人以上 50 万人未満 | 海部、尾張東部、西三河北部、西三河南部東 |
| 4 | 10 万人以上 20 万人未満 | |
| 5 | 10 万人未満 | 東三河北部 |

全国の人口規模別の構想区域数

| | 10万人未満 | 10万人以上 20万人未満 | 20万人以上 50万人未満 | 50万人以上 100万人未満 | 100万人 以上 |
|-------|--------|------------------|------------------|-------------------|-------------|
| 構想区域数 | 80 | 77 | 102 | 55 | 25 |



2 「類似かつ近接」の分析

(1) 分析する領域 (6 領域)

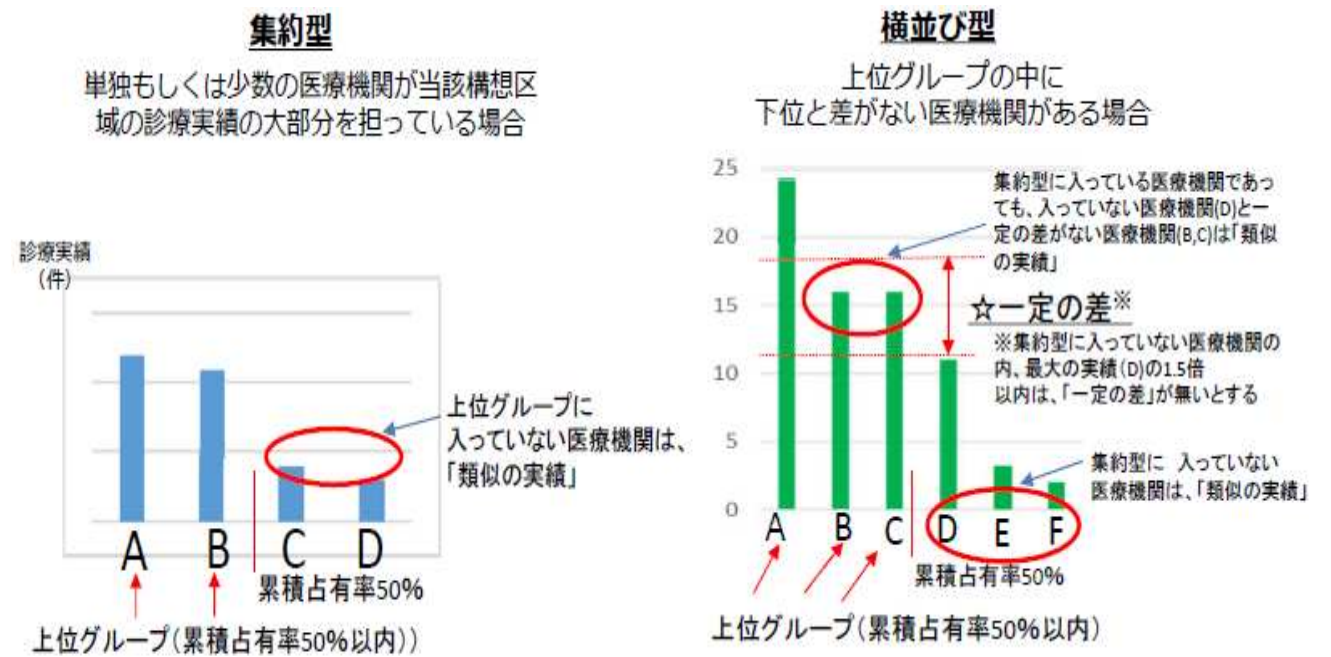
がん・心疾患・脳卒中・救急・小児・周産期

(2) 分析の考え方

各分析項目について、構想区域内に、一定数以上の診療実績を有する医療機関が 2 つ以上 (類似の診療実績をもつ) あり、かつ、お互いの所在地が近接している。

○「類似の実績」の考え方

- 診療実績が上位 50% 以内に入っている医療機関を上位グループとする。
- 上位グループの中で占有率が最低位の医療機関の実績と、下位グループのうち占有率が最高位である医療機関の実績とを比較し、上位グループと下位グループで明らかに差がある場合を「集約型」、一定の差がない場合を「横並び型」とする



○「近接」の考え方

- 公共交通機関の状況が各構想区域で異なることや、夜間や救急搬送の所要時間を考慮する観点から、「近接」は、「自動車での移動時間が 20 分以内の距離」とする。

